

への 市議会だより

臨時号

令和 8 年
3 月 15 日 発行



定数が 18 名から 16 名へ

令和 7 年 6 月定例会において、議員発議により議員定数改定の条例改正案が提出され、賛成 15 名、反対 2 名で可決されました。令和 9 年 7 月の選挙後から定数が 16 名となります。

議員定数等調査検討特別委員会

委員会立ち上げの目的

突然ですが、今の二戸市議会議員は、皆様の負担にこたえられているのでしょうか？そして、なにを期待していますか？

現在の議員定数は18名。急激に進む人口減少の中で、皆様の負担にこたえているのか。また、現在の常任委員会の枠組みは議会運営上問題はないのか。そして、月1万円が認められている政務活動費においても、その額が妥当であるかどうか。調査検討等を行い、議会改革を今後進めていく上でも重要なこの3点について重点的に調査を重ねることとしたのが、「議員定数等調査検討特別委員会」です。

延べ19回にわたる委員会の記録の中から、重要な論点の部分を抜粋し臨時号として市民の皆様にお知らせしたいと思います。

(議員定数等調査検討特別委員長

戸来 守和 記)

議員定数について

議員定数について、市民の皆様への議会に対する期待度や、定数に対する考え方を調査するため、「市民アンケート」を作成し、二戸市民およそ1000人に対し、アンケート調査を実施しました。(調査集計結果は2ページ及び3ページに掲載)

また、令和6年11月23日には、二戸市ビックセンターにおいて、「議員定数を考える会」を開催しました。市内有識者の方々より貴重なご意見をいただく機会を設けました。(結果の概要は、4ページに掲載)



政務活動費について

現在、二戸市議会議員は、月1万円の政務活動費で活動しています。果たしてそれが妥当な金額なのか今回の検討事項でありました。

調査の概要は、過去5年間の政務活動費支出状況です。18名の全議員分を調査しました。その結果、半数以上の議員が返納していました。よって、月1万円の政務活動費は現状維持とし、政務活動費の使用状況や支出の摘要についても何らかの形で継続調査を行い、有効に活動費が支出され、市政発展に向けて活用される活動費となっているかを継続調査することとなりました。

二戸市議会に関するアンケート調査 集計結果

1 調査の方法

(1) 調査対象

二戸市選挙管理委員会選挙人名簿から1,078人を無作為抽出
(個人情報保護のため送付名簿は発送後破棄)

(2) 調査期間

令和6年12月6日～令和6年12月31日

(3) 調査方法

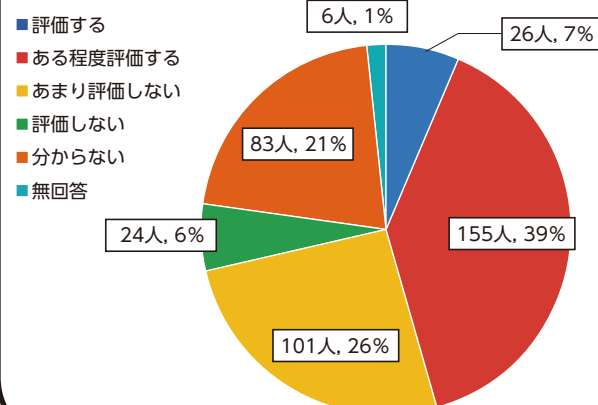
- ア 無記名調査
- イ 郵送により調査用紙発送
- ウ 同封の返信用封筒にて返信

2 回答の状況

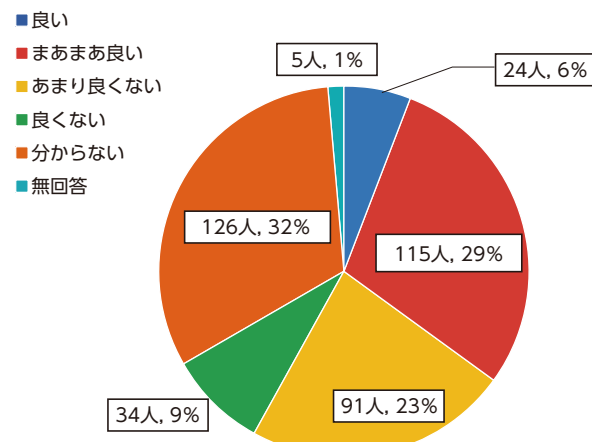
(1) 回答数 395人

(2) 回答率 36.6%

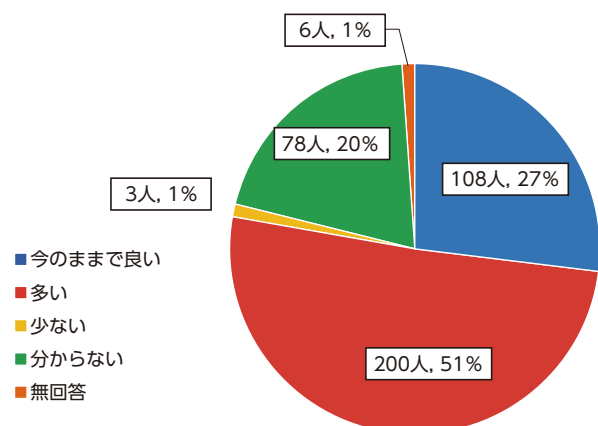
◆現在の二戸市議会を評価しますか。



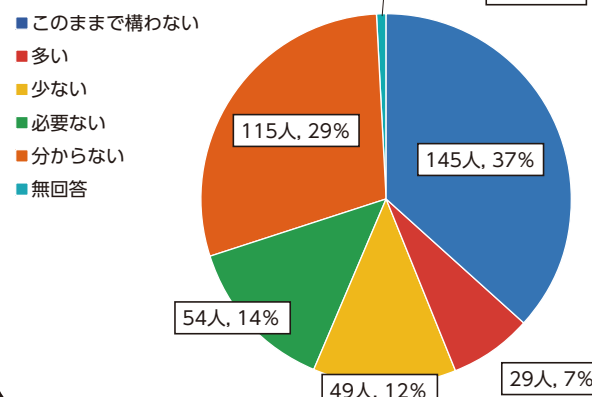
◆市議会議員の活動に対し、受けた印象を教えてください。



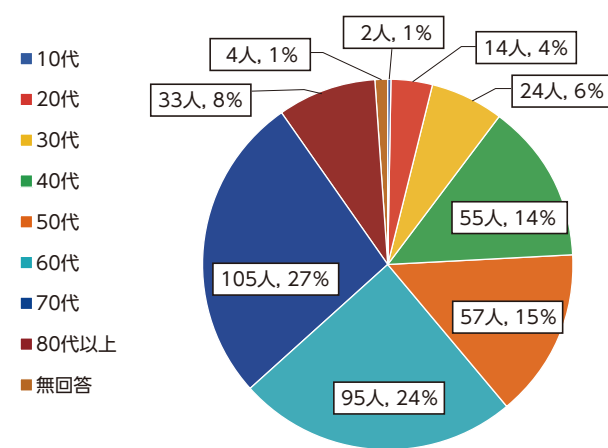
◆現在の議員定数18名についてどう思いますか。



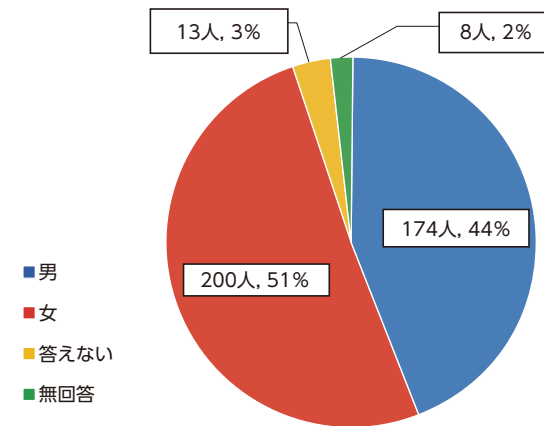
◆政務活動費、議員一人あたり月額1万円(年額12万円)をどう感じますか。



◆年代を教えてください。



◆性別を教えてください。



議員定数を考える会

令和6年11月23（土）、二戸市シビックセンターにおいて「議員定数を考える会」が開催され、7名の方からご提言をいただきました。提言の要旨は下記のとおりです。

二戸市商工会会長
生内 雄二 氏

力量を高めてもらいたい

議会は行政の仕事をチェックする機能が1番大事だと思う。人口減少すると税収が減るため定数を減らざるを得ないが、その人数で仕事をするには専門的な知識、キャリアを積み、オールラウンドプレーヤーになる努力をしなければならない。それに耐えられる議員さんたちが、その力量を高めていてもらいたい。

二戸市商工会女性部部長
内沢 由美子 氏

削減は妥当である

県内、他県の二戸市と同等の人口の市の議員定数が大体16名。人口が減少したら定数も減らさなければならぬのではということからも、16名は妥当と思う。円滑な議会運営に不安はあるが、少数精鋭で各委員会も討議、討論もできる方であれば、定数が16名になってもやっていけるのかなという思いもある。たいへん難しく、迷うところです。

二戸市農業委員会会長
安藤 直美 氏

現定数は少し多めだと感じる

全国、県内の平均と比較し、適正な範囲内とは思いますが、これから人口が増える状況になり点では少し多めかなと感じる。定数が多い少ないということよりも、女性議員が1人という状況が非常に寂しい。現職の皆さんの頑張りは重々承知だが、女性の声を吸い上げるには少し弱いのではないかと。複数の女性議員がいることが望ましいと思う。

カシオペア青年会議所専務理事
新毛 真武 氏

削減は妥当である

以前定数が18人になった時と比較し、明らかに二戸市の人口が減っている現状を鑑みると、実態に合わせて議員定数も変化していくべきである。人口が減少しても地域の課題は減るものではない。議員の方1人ひとりが幅広く声を拾うという姿勢が大事であり、個々の資質により求められると思う。より活発な議会になる事を願います。

二戸市社会福祉協議会会長
山口 金男 氏

議員の意見で決めるのが妥当

議員の方々が実際に仕事をする中で仕事の内容等色々な面から、現状維持でいいのか、2人程削減かというの、議員の方々の意見で決めるのが妥当だと感じている。議員活動が見えづらいことが市民の政治的無関心や投票率の低下に繋がるので、定数云々ではなく、議員の皆さんの資質の向上を期待して、元気な二戸市を作っていたきたい。

二戸市老人クラブ連合会会長
一本木 哲男 氏

削減せざるを得ないと考える

全国の二戸市と同程度の人口の市議会議員定数は16人が多く、また、議員1人当たりの人口については二戸市は若干少ない。今後も人口が減少していくと予測されることから、削減せざるを得ないと考える。ただし、議会の実情があるため、議会の審議能力など市政への影響を考慮することがたいへん大事になってくると思っております。

門崎・下藤農産物直売所組合
浄南ママ直 佐藤 幸子 氏

現状の定数が適正である

定数が適正かということよりも、やることをやってくれば人数は現状でもよいというのが正直なところだと思う。議会をたよりを拝見し、中学校等を訪ねて皆さんで話し合ったりと、本当にいいことだと思った。保護者も含め意見交換を気軽にできるような環境になることなど、今後期待しているので、私は適正であると述べたいと思います。



※本記事に掲載の肩書きについては、開催時点のものです。紙面発行時と異なる場合がございます。

議員定数等調査検討特別委員会 調査検討結果を報告

令和7年6月定例会において、議員定数等調査検討特別委員長より次のとおり調査の最終報告がなされました。

1 議員定数について

(1) 18人の定数を2減の16人とする
ことが望ましい

2 委員会フレームについて

(1) 3常任委員会の委員会構成を維持し、各委員会5名で構成することが望ましい

(2) 議長は常任委員会に属さないことが望ましい

(3) 水道事業所、簡易水道、下水道、農業集落排水及び浄化槽に関する事項の審議は総務常任委員会付託とすることが望ましい

3 政務活動費について

(1) 現状維持の月1万円の交付とするのが望ましい

(2) 今後も調査研究活動の公費として有効活用させていただくためにどうあるべきかを検討する委員会等を立ち上げ、継続して検討していくのが望ましい

討 論

賛成 と 反対

賛成

土佐野 淳 議員

市民の生の声やアンケート結果から、多くの市民が議員定数を多いと考えていると分かった。我々議員の大切な仕事の一つは市民の声を市政に活かすことであり、議員定数についても実現していくことが責務である。

以前議員定数を減らした時から人口は2800人程度減少している。これだけの人口が減少している以上、定数減は妥当である。以上のことから賛成する。

反対

畠中 泰子 議員

議会の機能は市民に代わり市民の重要な意思や市の進路・運営の基本を決定する重要なことである。今日、地方の行財政はますます厳しくなっており、課題は多様化・増大している。今まで以上に市民の声を把握し、行政や議会に届ける議員の役割は増している。そのために現状維持で18名の議員が一層活発に活動することが必要と考える。以上の意見をもって反対する。

賛 否 の公表

議案名等	土佐野 淳	高村 人司	柴田 清克	堀野 忠教	菅原 規正	戸来 守和	國分 敏彦	駒木 昇	田川 晃	沼井 賢壮	小田島行伸	出堀 満則	岩崎 敬郎	新畑 鉄男	畠中 泰子	田口 一男	内沢 真申	田代 博之
二戸市議会の議員の定数を定める 条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	議	○

※議長は採決には加わりません。 ※「議」は議長、「○」は賛成、「×」は反対

※令和7年6月定例会での賛否結果です。

委員会フレームについて

議員定数が2減となることを踏まえ、委員会フレームも条例改正に向けて調査検討を重ねました。

まずは3常任委員会の維持を委員で確認し、16となる定数における人数割り振りを検討しました。5人ずつの委員会構成とし、現在は常任委員会に所属している議長は常任委員会に所属しないことを委員会で一致し、報告書に記載することになりました。

また、産業建設常任委員会所管であった上下水道事業、簡易水道事業の議案審議は、所管の偏りは正のため、9月定例会より総務常任委員会に移管されることも確認しました。

●委員会のフレーム●

現状

- 総務常任委員会 6人
 - 文教福祉常任委員会 6人
 - 産業建設常任委員会 6人
- ※議長も常任委員会に所属する



改正後

- 総務常任委員会 5人
 - 文教福祉常任委員会 5人
 - 産業建設常任委員会 5人
- ※議長は常任委員会に所属しない

議員定数等調査検討 特別委員会の開催日、 主な協議事項

- 【第1回】令和6年6月28日
 - ・正副委員長の互選について
- 【第2回】令和6年7月8日
 - ・特別委員会の検討事項の確認
- ア 議員定数について
- イ 政務活動費について
- ウ 委員会フレームについて
- ・今後の予定について
- 【第3回】令和6年7月22日
 - ・議員定数について
- 【第4回】令和6年8月5日
 - ・議員定数について
- 【第5回】令和6年8月26日
 - ・議員定数について
 - ・今後のスケジュールについて
- 【第6回】令和6年9月12日
 - ・意見聴取会について
- 【第7回】令和6年10月8日
 - ・市民アンケートについて
 - ・意見聴取会パネリストについて
- 【第8回】令和6年10月16日
 - ・議員定数を考える会について
- 【第9回】令和6年11月13日
 - ・議員定数を考える会について
- ・市民アンケートについて
- ・今後の予定について
- 【第10回】令和6年11月23日
 - ・議員定数を考える会の開催
- 【第11回】令和6年11月27日
 - ・議員定数を考える会の振り返りと討論結果分析
- ・市民アンケートについて
- 【第12回】令和7年1月15日
 - ・市民アンケートの集計について
- 【第13回】令和7年2月3日
 - ・市民アンケート結果の分析などについて
- 【第14回】令和7年2月25日
 - ・議員定数について
- ・委員会フレームについて
- 【第15回】令和7年4月2日
 - ・政務活動費について
- 【第16回】令和7年4月28日
 - ・政務活動費について
- 【第17回】令和7年5月8日
 - ・報告書等について
- 【第18回】令和7年5月22日
 - ・報告書等について
- 【第19回】令和7年5月29日
 - ・報告書等について

編集後記

議員定数削減の流れも少子高齢化・人口減少問題に端を発する波の一つであることは確かであり、将来の二戸市の在り方を予測しながら、今後もいろいろな意見を取り入れつつ議論を継続していく必要性を感じました。

また、突然のアンケートにご協力を頂いた皆様や、お忙しい中「議員定数を考える会」にご提言をいただきまして皆様に厚く御礼申し上げます。

現在二戸市議会主催で開催している「二戸についてなんでも話そう！意見交換会」の場におきましても、市民の皆さまからの率直なご意見を賜りたく存じます。

これからも二戸市議会に対しましてご協力をよろしくお願いいたします。

(堀野広報部会長 記)

